

第4回 みんなで取り組む武庫川づくり交流会 実施報告書

実施日：2015年10月17日（土） 13:30～16:30

実施場所：宝塚商工会議所 多目的ホール

① 交流会の概要

兵庫県では、地域共有の財産である武庫川を守り育てるため、「みんなで取り組む武庫川づくり交流会」を開催して、住民団体や地域住民等の意見をお聞きし、「参画と協働」による川づくりに取り組むこととしています。

昨年度は、第3回となる交流会を開催し、武庫川のフィールドに出て、武庫川が直面している自然環境や生物多様性保全に関する課題を確認するとともに、その課題解決のための実践活動を行い、今後の連携のあり方について考えました。

第4回となる今年度は、自然環境や生物多様性保全に加えて、歴史・文化にも焦点をあてるとともに、武庫川に関する様々な興味をもった人々に交流する場を提供することによって、相互の連携を支援しました。

交流会プログラム

13:30	開 会
13:40	環境保全活動報告 ・「武庫川河川敷お掃除会と特定外来生物オオキンケイギク駆除」 武庫川流域圏ネットワーク 代表 山本 義和 氏 (神戸女学院大学 名誉教授) ・「逆瀬川を特定外来生物からまもる」 宝塚市 環境部 環境室 環境政策課 課長 伊吹 章 氏
14:30	休 憩
14:45	講 演 ・「武庫川流域の歴史・文化から」 園田学園女子大学 名誉教授 田辺 真人 氏
16:25	アンケート記入
16:30	閉 会

② 参加状況

52名に参加していただきました。

③ 環境保全活動報告

(A) 武庫川流域圏ネットワーク代表 山本 義和 氏（神戸女学院大学 名誉教授）から「武庫川河川敷お掃除会と特定外来生物オオキンケイギク駆除」と題して活動報告していただきました。



【報告要旨】

- (1) 仁川の河川敷には、特定外来生物であるオオキンケイギクが大繁殖している。これを市民と一緒に駆除する活動をしている。
- (2) 武庫川流域圏ネットワークが取り組んでいる具体的な環境保全活動は、武庫川に関する各種の情報の発信、武庫川河川敷お掃除会の実施、特定外来生物オオキンケイギクの駆除、講演会の企画、兵庫県企画の事業に参加、武庫川市民学会の後援、市民カレッジ等での講師、エコバスツアーの企画などである。
- (3) 武庫川の河川敷清掃から副次的に得られるものは、自然や生き物を知る、川の構造や水の流れを知る、自然への畏敬の念を抱く、川から得られる恵み（物質的、精神的）を知る、人と人とのつながりが生まれる、ボランティア活動した充実感が得られる、などである。
- (4) 完全な駆除は難しいので、やれるところから始めて活動の輪を広げる。一般市民への啓発活動を行うこと、他の特定外来生物にも目を向けることなどが非常に重要である。

- (B) 宝塚市 環境部 環境室 環境政策課 課長 伊吹 章氏から「逆瀬川を特定外来生物からまもる」と題して活動報告していただきました。

【報告要旨】

- (1) 逆瀬川で行った特定外来生物駆除の取り組みは、兵庫県の参画と協働による武庫川づくりの取り組みであると同時に、宝塚市の生物多様性保全の取り組みでもある。
- (2) 宝塚市は、北部地域に広がる里地里山の環境と、南部地域の緑豊かな街並みが市民の感性を豊かにし、地域文化の醸成にも役立ってきた。しかし、昔から存在する動植物が徐々に絶えてきているという状況があり、また、河川やため池を中心に外来生物による生態系のかく乱も、本市の豊かな生物、生態系が失われつつある原因である。
- (3) 宝塚市では、「生物多様性たからづか戦略」、「生物多様性配慮ガイドブック」などを策定・作成し、市民、事業者、行政の協働で環境保全に努めてきた。柱となる3つの考え方は、1つは全ての命が共生・共存するという考え方。2つ目は恵みがめぐる命の循環という考え方。3つ目は命を育てる地域参画という考え方である。
- (4) 6月27日に、生物多様性セミナーと位置づけ、特定外来生物であるオオキンケイギクの駆除を市民と一緒に逆瀬川で行った。参加者は、老若男女問わず集まり、約1時間の駆除作業を行い、駆除後は逆瀬川の水生生物の観察会を行った。「駆除を体験できて大変参考になった」、「自然を守ることがどれだけ大切かわかった」などの感想があった。今後の方針は、市民とともにこの取り組みを継続していきたいと考えている。



④ 講演

園田学園女子大学 名誉教授 田辺 真人氏から「武庫川流域の歴史・文化から」と題して講演していただきました。

【講演要旨】

- (1) 尼崎の小学校の校歌の中で最もたくさん出てくる地名は、六甲山と武庫川。阪神間で武庫川は、非常に存在感のある川である。
- (2) 武庫川という川の名前は万葉集にも出てきて、牟古、六兒、務古、六甲という書き方をしている。大阪から見て、海の対岸（ムコウ）という語の音に字を当てたものである。

川は交通の手段であった。道路も何もない時代に、河原を歩き、いかだで物を運んでいた。阪神間の地域では、人間が作った交通路が東西に走っており、これに南北の川が交差する。交差点のあたりというのは交通の要衝であり、武庫川は経済や文化の発達に貢献した。
- (3) 鎌倉時代の初めには、雨が降ると武庫川はかなり増水して水害が起こったという記録が残っている。江戸時代になると、水害が起こって大きな被害が出たという記録がたびたび出てくる。そのために、古事記の中で田の畝を切って洪水を起こしたとされるスサノオ命が、流域で多く祀られている。
- (4) 明治25年に武庫川が大暴れをして大きな水害を起こした結果、兵庫県が乗り出して武庫川の治水対策を実施することになり、明治35年から昭和3年までかけた長期の計画により、武庫川の流域で治水工事が行われた。支流の逆瀬川の治水工事は昭和9年に完成したため、昭和13年に東六甲で大きな被害を出した阪神大水害に際して、逆瀬川流域ではひどい被害が出なかった。
- (5) 武庫川は先人の様々な工夫により、経済や文化を支えた川だということをご認識いただいて、これからも武庫川の保全と一緒に取り組むことができればよいと思う。



⑤ アンケート

今回の交流会の内容や今後の企画についてアンケートを行い、49名から回答をいただきました。

今回の交流会については、時間設定については「ちょうど良い」と感じられた方が多く、内容についても総じて満足していただけたと考えられます。

次回以降の企画としては、今回のような「講演会や学習会」とともに、「現場における調査・保全活動」及び「現場における観察会などの活動」を希望されている方も多いことがわかりました。

表. アンケート調査の結果

問1-1 環境保全活動報告（武庫川河川敷お掃除会と特定外来生物オオキンケイギク駆除）について	時間設定は？	長い	ちょうど良い	短い	無回答	
		4	43	1	1	
	内容の理解度？	やさしい	ちょうど良い	難しい	無回答	
		12	34	0	3	
	ご自身の参考となりましたか？	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無回答	
		42	3	1	3	
問1-2 環境保全活動報告（逆瀬川を特定外来生物からまもる）について	時間設定は？	長い	ちょうど良い	短い	無回答	
		4	45	0	0	
	内容の理解度？	やさしい	ちょうど良い	難しい	無回答	
		18	28	2	1	
	ご自身の参考となりましたか？	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無回答	
		40	3	4	2	
問2 講演（武庫川の歴史・文化から）について	時間設定は？	長い	ちょうど良い	短い	無回答	
		6	36	4	3	
	内容の理解度？	やさしい	ちょうど良い	難しい	無回答	
		9	36	1	3	
	ご自身の参考となりましたか？	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無回答	
		43	2	0	4	
問3 活動団体や地域住民の参画・連携の促進について	今後、どのような企画が必要だと思いますか？（最大2つまで○を付けてください）	知識や関心を高めるための講演会や学習会	参加型のワークショップやポスターセッション	現場における観察会などの学習	現場における調査・保全活動	無回答
		26	8	22	28	3 その他 0
	参加しやすい企画（イベント）はどのようなものがありますか？（最大2つまで○を付けてください）	生き物調査	水質調査	貴重種保全・外来種駆除	環境学習・体験活動	無回答
		14	10	17	29	5 その他 3

【自由記述における主な意見】

- ①田辺先生の講演を目的に参加したが、環境保全の領域は門外漢でいろいろと勉強になった。今後、この方面についても研鑽を積んでいきたい。まずは11月8日の武庫川河川敷お掃除会に参加しようと思う。
- ②山本先生の話は、市民ができる活動として参考になった。田辺先生の話聞いて、武庫川の値打ちがよく分かった。
- ③地名、地形と歴史をまじえて、分かりやすい講義だった。非常に良かったと思う。